

提案名	木住協ながい木の家モデル 地域に根ざす装いの家	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	木住協グループ	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

今回のモデルは、会員が主体的に長期優良住宅の建設に取り組めるよう、次の4点をポイントとして提案しました。

- ①長く地域に愛される住宅として、地域産材の活用やデザイン調和の設計誘導を行い、まちなみ景観配慮に寄与する。
- ②高耐震性や高耐久性という基本性能を具備し、長期にわたり維持管理、間取り変更可能な構造・設備などを織り込む。
- ③長期にわたる維持管理・履歴情報の確実な実施のために、施主・会員工務店・木住協の三者が相互に補完しあう体制・システムを構築する。
- ④単独で長期優良住宅の普及・啓発と販売促進に取り組みにくい、中小工務店などの会員企業に対して、マニュアルやチラシなど共通のツールを作成し提案代表者の木住協が支援する

■提案内容

【基本仕様】

①木住協まちなみ配慮コード

地域産材（国産材に限らず県花・県木・地場産品・特産品等）の活用、色彩調和、緑化、特定行政庁の景観基準など、個別設計で対応可能な要件を織り込んだ「木住協まちなみ景観チェックリスト」により、まちなみ景観配慮のための設計誘導を行う。景観配慮コード活用のための、カラープランナーなどの勉強会やコンサルティングを行い、人材育成に寄与する。

②耐震等級3の確保

200年という期間には大規模な地震に最低1回は出会うと考えられる。その場合にも倒壊することなく、また復旧可能な程度の損傷で済むような強度とバランスの良い構造を持つものとする。

③根がらみレス空間基礎

床下空間での点検・メンテナンスの容易性を高め、さらに水回り空間も含め間取りの可変性向上のために、段差の無い人通口付き基礎とする。その内寸高さを600mm以上とし、大引きを根がらみのない鋼製束で支持する。

④ヘッダー配管システム

設備配管のメンテナンス性を高め、間取りの可変に対応できる給排水管として、床下の給水・給湯・排水配管にヘッダー配管システムを採用する。

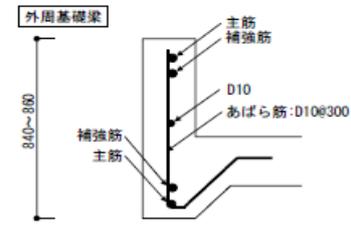
①木住協まちなみ景観配慮

コード

項目	ガイドライン	チェック欄
配置・位置・規模	各地域の景観法、条例などの上位計画に準拠する	<input type="checkbox"/>
	周辺のまちなみや景観から突出せず、連続または調和した配置とする (建築物の高さや壁面の位置、屋根の形状等)	<input type="checkbox"/>
	距離沿いはセットバックする	<input type="checkbox"/>
建築 「ぶに 配慮しい	周辺のまちなみや景観と調和した意匠とする (外壁・屋根の色等)	<input type="checkbox"/>
	隅部分、玄関周りに、距離に異なる部分等は、伝統的な材料や構造の材料、職方の子によるあたたかみのある意匠的な仕上げに配慮するよう心がける	<input type="checkbox"/>
建築物 性能	建築設備機器、ゴミ収集設備などをルーバーや格納などで目立たせない工夫をする	必須
	近隣の住宅地景観から突出せず、連続あるいは調和した景観形状となっている	<input type="checkbox"/>
景観	軒等の高さを周辺にあわせる	<input type="checkbox"/>

a. 「②耐震3等級・劣化対策3等級相当以上」を設計するにあたり、「①木住協まちなみ景観配慮コード」に則って開口部配置やデザイン、軒の出、瓦（荷重）、植樹、日射などを並行作業で決定することができる。

②耐震3等級・劣化対策3等級相当以上



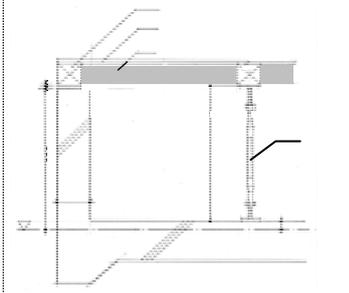
b. 「②耐震3等級・劣化対策3等級相当以上」

の設計指針によりつくられた人通口付き基礎に

より確保された「③根がらみレス空間基礎」

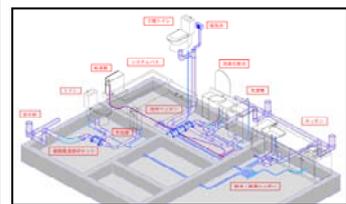
床下空間（内寸 600 mm以上）は、根がらみが無いので、業者はもとより居住者でも床下からのメンテナンス等を容易に行うことができる。

③根がらみレス空間基礎



c. 「③根がらみレス空間基礎」内に「④ヘッダー配管システム」を設けたので、点検や入れ替えの容易性を向上できるだけでなく、将来の間取りの変更に伴う水回り設備の位置変更に対しても容易に対応できる。

④ヘッダー配管システム



【維持管理】

施主、中小工務店、木住協による履歴情報の蓄積・保管・不具合の24時間対応、定期点検アラームなど、居住者3世代以上にわたる住宅の維持管理が継続可能な「三位一体チェックシステム」に、今回はウェブサイト閲覧可能な工務店向けサービスを追加する。このことで、一定の様式で分かりやすく整理された図面などの情報を工務店及び木住協で随時閲覧が可能になる。

■提案者からのコメント

- 木住協モデルに賛同する会員の中小工務店が各地で「まちなみ配慮コード」に沿って地域らしさに配慮した住宅建設に取り組むことにより、長期優良住宅への理解度が高まり普及促進に繋がるとともに、その地域の核となって点から線、面への広がりが期待できる。
- 建設時の環境への負荷が比較的小さい木造住宅に、永く住み続けることで、さらに環境への意識・関心を高めることができる。
- 単独では住宅取得希望者に対して、当該モデル事業（普及のための国土交通省からの補助金制度）や長期優良住宅の主旨説明などを行っても理解されにくい中小工務店の現状を踏まえて、共同提案者が共通で利用できるリーフレットを木住協で作成し、普及啓発と販売促進をバックアップする。